幼児には十分な食事を与えることが重要です。この食事は、栄養バランスがとれていることが必要です。牛乳を含む食品は、特に乳幼児の成長に重要である。栄養不足を防ぐためにも、これらの食品を適量与えることが大切です。

牛乳給与における幼児の選び方

1. 生後1年までに牛乳を給与される幼児は、通常牛乳が不可欠である。しかし、乳幼児期には、特に乳幼児の成長に必要な栄養素が含まれているため、適量給与することが必要です。

2. 若し栄養が不足する場合、牛乳を給与せんとしされる場合は、一割基本食品法に基づき、一割基本食品の指針に従って給与することを勧めます。
乳が入ったコップは絶対的に用いてはならない。手付きのあるコップは、保母の意志によって可否を定めるべきものである。

牛乳給与に対する参考事項

1. 牛乳がコップで給与されるときの注意
   A. コップはありのままの形で与えられたもので最も良さそうに。鍍金などのものは必ず避けるべきで、また使いにくい。

2. 牛乳を瓶で給与されるときの注意
   A. 麦藁管は清潔な容器によって保存されねばならない。
   B. コップはいつも清潔な場所に保存して置くこと。
   C. 児は一番手近の部分をもって、上部を持たしてもらうか、また他の児の麦藁管に、決して触れさせないように注意するべきである。

3. 種々の事情の下に、保母が経ての児を対し、牛乳給与を避けなけらで、その場合ある両親に於て、物質的に資費を出して牛乳給与を求めてもやまないやうなこきには、勿論保母のこれにに対する勧害了さ取扱いの研究が必要である。
3. 一般的の注意
A. 各瓶を扱うために清潔な手
B. 食事用の器具を清潔に
C. 牛乳を手に取る前には、必ず両手を洗う
D. 牛乳を手に取る前には、必ず両手を洗う
E. 牛乳を手に取る前には、必ず両手を洗う

4. 健康習慣を説明している
A. 健康習慣を説明している
B. 健康習慣を説明している
C. 健康習慣を説明している
D. 健康習慣を説明している
E. 健康習慣を説明している

5. 休養
A. 休養
B. 休養
C. 休養
D. 休養
E. 休養
決めして排斥すべきものではないのである。その方法は先ず一足を合せ、そして幼児を接続させないように、多少間隔を置いて寝かせればならない。三箇所の機の幅が狭い場合には、機の中央を約二インチ離すならば、決して足を顔を外に出すようなことなく適合されるであろう。また幼児を机の上に寝かせるに当つて、その機面を傷つけないためには、最初幼児を机の淵に腰を掛けさせ、そしてそのまゝ後の方へ身を引かしめるのである。これにはまた、ある保険によっては、幼児の足元に小さい紙切れを置いてあるが、これもよき一つの方法である。

斯くの如き短時間に於ける休養の方法は、決して幼児のものに悪影響を與へるものではない。反つて背中を下にすることにかぎりによって、むしろ幼児の姿勢のための良い結果をもたらすべきものである。

幼児の休養は環境の俄間に至るため、幼児を差しのある四脚の机に、六人の幼児を寝かせることが出来よう。年長の幼児にはそれ（四脚の椅子）を用ひることである。従来椅子の使用によつて完全なる方法であることを知る必要がある。

A. 椅子を直線に並べる。B. 三足は四脚の椅子を、音楽椅子のようになに置くこと。C. 四脚の椅子は、互ひに席の前部が触れ合うように置くこと。D. 二脚の中央の椅子は、内側と内側を相対して置く。正方形に置くこと。前後に置くべきものである。なお幼児にとっては、一般会場式の長椅子を用ひたれにしても椅子に掛ければ、頭を机の上に下げて休養すること、決してよくない方法である。
A. 毛布は各家庭から持参しめる。
B. 綿毛布は、保護者会または教育関係の機関より支給される。
C. 適当な遊びを興へること。
D. 適当なる遊びを興へること。

C、木陰に寝かせ、小鳥の鳴きを聞かせること。

幼児の食事に関しては、次の如き注意を要するものである。

食事に就て

1. 牛乳約六合を一日分し、その乳の大部分を吞ませる。
2. 飯は堅く、適当なる運動に対する参考로서しては次の如きものがある。
3. ボートに乗せるること。
4. 海邇に於て砂の上に寝かせ、波の音を聞かせるること。
5. 幼児の食事に就ては、次の如き注意を要するものである。
6. 食事は毎日念を切らなければならなれ、とて幼児の健康を損じる恐れがある。

2. 直立姿勢をこらしめるること。
3. 身長を計った後、直ちに適当なる運動に就くことを。
4. 幼児の運動を処理に、それがよくなるに至るか否かを監視し、

5. 米國の体験を量るに、それがよくなるに至るか否かを監視し、

6. 米國の体験を量るに、それがよくなるに至るか否かを監視し、

7. 低調の音楽を使用すること。
8. かわるかなる運動は、幼児を休養に導く一つの方法されること。
9. ゆらやかな運動は、手足の運動に幼児が欠けたときの表情を現はしたるこき。即ち、適當なる休養を興へることを忘れてはならぬ。
2. 一日に一種の野菜、（その上に馬鈴薯、）これらの一一種は生にして、他の一一種は煮つくること。勿論葉の多い野菜類であるようである。

3. 毎日少しの新鮮なる果物を毎へること。

4. 毎日数種の蛋白質の含まれた食物、即ち、肉、玉子、チーズ等を選び毎へること。

5. 若し幼児が栄養不良のため、ふらいだ眼を持ったり、顔色が蒼白であったり、また薄弱なる筋肉等を持っている場合は、その幼児は神経的にしくへろくなるが故に、この種の幼児は心を断せしめる必要があり、然して両親が何れかの事、情のもとに、その専門家にることこそが出来ない故に、

帝大セッツルメントに

東京市本所区横川にある帝國大學セッツルメント内の児童部、託児部では、学生の指導で江東一帯の児童のために、お話し会、臨海学校キャンプ等の仕事を、大正十三年以降続け

本来は幼稚園に関する関係ある蘭師に相談して、充分なる適宜の処置を構ぜねばならぬ。